



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.179

令和7年4月11日発行

2025 JANUARY

これから歩み出す未来へ

(表紙の説明は10ページへ)

特集！只見町の予算に町の人とは 2~3

只見町の予算に物申す！ 4~5

11名が町政を問う！一般質問 13~24

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ→



の予算が決まる!

3月定例会で町から提案された令和7年度の一般会計当初予算は62億9千万円、特別会計と合わせて83億4290万円です。

議会にはこのお金を決定する「重い責任」があります。広報広聴常任委員6名が注目する事業を町民の皆様に取材に出向き、「町民の声」を集めてきました。町民の代表である議会が議決した時点で、私たち町民にもこの予算執行への「責任」が生まれます。

広報と広聴を強化し、関心が集まる議会になるよう努力してまいります。

(単位: 万円 ※未満切捨)



0歳児が75歳の保険料を負担!? 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険税の中に、後期高齢者保険への支援分という科目があります。

これは75歳になったら加入する保険制度(後期高齢者)へ国保の加入者が支援をしているのですが、生まれてすぐの0歳児も均等割りという科目で負担しています。国の制度ですが、皆さんどう思いますか?



馬場由人さん
ご家族(梁取)

税金は「そういうものだ」で見えていましたが、もう少し自分でも勉強しようと思いました。



透析療法は、通院されておられる方の負担が大きく、透析患者さんの送迎を民生委員会で町に要望し、実現した経過があります。

今度、実情に合わせて拡充されたこと、本当に良かったと思います。これからも、医療・福祉の充実よろしく願います。

民生児童委員協議会
会長 目黒ハナエさん



人工透析患者送迎業務が拡充・ 町内事業者に委託!!

人工透析患者送迎業務委託料 1300万円
福祉車両購入費 360万円
人工透析患者通院交通費給付費 230万円

平成31年から行われていた人工透析患者さんの送迎を、南会津病院への送迎に加え会津若松市の病院への送迎も行うこととなりました。(南会津病院では新規の患者受け入れが当面できないため)

福祉車両を購入し、町直営で行っていた人工透析患者の送迎業務を町内介護タクシー事業者に委託し行うものです。

ご自身で通院されておられる方には、通院交通給付費が給付されます。



交流施設費に1億2388万円

源泉ポンプの入替や配管補修で地域の宝 である温泉を守ります

修繕料 1693万円

エレベーターの法定点検等を実施し、 利用者の安全安心を確保します

施設維持補修工事 3139万円



湯ら里って意外とお金かかるんだ。もっと町民に還元してもいいと思うけどな。

佐藤雅幸さん
(小林)



合計83億円



薪ストーブなどの導入に補助

薪ストーブ等普及支援事業補助金
薪ストーブや薪ボイラー設置費用の1/2、
上限30万円

生活に欠かせないエネルギーである熱エネルギーを薪に変えることで化石燃料（灯油、電気）の消費量を減らすことができます。薪ステーションでは間伐材を薪に加工しており、薪割りの重労働をしなくても薪ストーブなどが使えるようになりました。

町民の声

薪ストーブの導入
を考えてみたいと
思います。

吉津明さん
ご家族(杉沢)



ライスウィスキー製造で地方創生に

地域経済循環創造事業交付金 3500万円

早く飲みたいな

五十嵐修さん
(蒲生)

町民の声



「合同会社 ねっか」は新たに、只見産米を原料としたライスウィスキーの製造による地方創生事業に取組むことを目的として、総務省のローカル10,000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）を申請し、初期費用として交付されます。これにより、新たな雇用の確保、海外への販路拡大、「ウィスキー×観光×食×自然×文化」を融合させた総合型地域活性化を図ります。



医療介護施設運営に 繰入金額2億6115万円

国民健康保険施設朝日診療所繰入金
繰入金合計 1億4106万円

老人保健施設こぶし苑繰入金
繰入金合計 7503万円

介護保険施設あさくさホーム
運営補助金 4505万円

※繰入金、補助金の説明は6ページを参照

どの施設も無くしてはならない施設です。
明確な計画を持って管理運営していく必要があります。

町民の声

2億円以上！まず、この金額に驚きました。只見町の医療福祉への繰入金の言葉も意味もよく知らず、難しいからと避けていましたが、毎年多額なお金が赤字の医療福祉施設に補填されていた現実！少子高齢化、このままでは只見町は破綻してしまうのではと心配になります。



多くの医療福祉施設

町長の 所信表明

予算提案にあたり、渡部町長は「目標に向かって行動するまちづくり」を念頭に置き、3つの目標を示されました。1つ目は「安心、安全なまちづくり」2つ目は「町内産業の持続的な振興と担い手確保」3つ目は「人材の育成と確保」です。

只見町の予算に物申す！

予算特別委員会の主な
質疑応答をご紹介します。

ふるさと納税

問 ふるさと納税が努力目標としての姿勢が感じられない。収入増へ向けて施策は。

答 企業版はアピールの方法を変えて、増額につなげたい。

問 入湯税は、150円870人減を見込んでいるのか。町民の福祉増進として重要。上げていく施策は？

答 コロナ以降、湯ら里の入湯利用者が減少しているが、増える取り組みをした



医療・福祉

問 带状疱疹ワクチン接種は国の制度か。

答 これまでは任意。7年度からは定期接種になり、対象者は65歳以上。一部自己負担で残りは町が補助。

観光

問 軽度難聴の方への補聴器助成金の予算の根拠は。

答 上限3万円で10名。金山町を参考とした。

問 CM大賞は昨年度出品がなかった。今年度の予定は。

答 有効なPRの場であり、只見高校パソコン部の協力で実施していたが、時間がとれず断念した。今年度は公募や推薦も検討し出品したい。

問 観光公社と名前を変えた会社により、観光と違う事業を随意契約で良いのか。

答 観光に特化しているわけではない。まちづくり会社として様々な事業を担って欲しい。

問 包括連携協定事業の内容は。

答 県事業を活用し、カヤック、サイクリングをツアー化し、着地型観光商品の造成を。

問 駅前倉庫にモーターの自転車が活用は。

答 イベントや貸し出し用に需要はあると考える。

問 観光アプリの成果と費用対効果は。

答 3年で登録者数961名。今後、活用を検討する。

農林・建設

問 薪ストーブの導入は、どの程度普及を見込んでいるか。

答 50%補助で限度額30万円。5件ほどの見込み。

問 ライスセンターは公設民営だが、運営方法、利用料は。

答 概算事業費の3割を納入するつもりで組織化されている。

問 道路補修は、警察と協議しているか。一時停止線が消え、積雪でカーブミラーが見えない。

答 新設の場合は協議している。外



側線の協議はないが、3年に一度補修している。毎年警察と協議し、指摘しているが予算がつかない。

問 豪雪でトマトハウスに被害が出ているが、個人での修復は対象外か。

答 農業振興費での予算。情報をつかみ必要性があれば県、JA含め協議したい。

教育

総括質疑

問 学習センター食費が増額している。個人負担は増えるのか。

答 増えない。保護者の負担は月4万円のまま変更ない。

問 物価高対策全般で、弱者に対する補助金での対応が必要では。

答 国の給付金を支給している。現時点で扶助費補助金の見直し検討はしていないが、経済対策ではない補助給付もある。

問 教員住宅の除雪、屋根除雪に安全対策を取れるのか。

答 除雪に不慣れな教員が多い。住宅で組合を作り、業者委託で対応を。

問 町内事業者へ委託しているスクールバスの運行費は、前年度より上がっていない。物価高騰の中、適正なのか。

答 運行管理費については見直しを行った。委託事業者が赤字という認識は持っていないが、見積もり段階で丁寧に対応したい。

問 昨年、山開きの下見登山を2名で実施した。安全対策として不十分ではないか。8名いれば登山道の整備も可能だ。日当や人員の再検討を。

答 観光公社に委託しているが、山

に登れる人が減っている。再検討したい。

特別会計

問 医師紹介手数料は成功報酬だが、見つからない場合は。

答 町と県で委託中の事業者。見つかった場合に手数料が発生する。

問 医師住宅のシャッターが雪で壊れている。4棟は空き家で、落雪により駐車スペースが狭くなっている。適切な管理を。

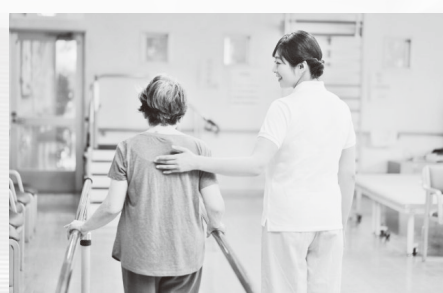
答 駐車場の雪を押す場所がなく、ご迷惑をおかけしている。単身の医師が多く、一軒家を希望する人がいない。

問 医師、歯科医師、歯科衛生士の雇用体系は。

答 歯科医師は一般職の任期付職員。歯科衛生士はフルタイム会計年度任用職員。医師は委託契約である。民間の歯科もあるが、待遇面を考慮したい。

問 南会津会の経営が厳しいと聞いている。あさくさホームは希望者がいないが、待機入所者はいるのか。

答 こぶし苑は在宅介護、要介護1以上でも入所できる。待機入所者はいない。



総括質疑

問 朝日診療所の医師が2名になった場合、診療、医療体制を町民に示すべきでは。

答 入院再開には5名必要。4月からは2名体制で、平日日中の外来、訪問診療、学校医、施設の担当医が基本。引き続き確保に努める。町民への説明は医療の現場も含め取り組みたい。

問 実情に合わせた医療、介護に関する総合的な計画を。

答 医療介護福祉の在り方検討会を尊重し、南会津会と協議しながら最善を目指す。

予算特別委員会のトピックス

予算特別委員会に付託された議案は、全て原案のとおり可決しました。

以下の2議案には反対討論があり、一般会計、国民健康保険施設特別会計(朝日診療所)、介護老人保健施設特別会計(こぶし苑)は意見を付して可決しました。審査報告書の全文は右QRコードを参照。



予算特別委員会

一般会計

賛成10 反対1(菅家忠)

費用対効果の薄い事業の継続、観光ビジョンのない場当たりの委託業務提案のため反対。

只見町後期高齢者医療特別会計

賛成10 反対1(山岸国夫)

制度そのものに反対。



議会議中継の様子

入ってくるお金 ベスト4

1位	地方交付税	26億8千万円 (42%)
2位	繰入金	12億2千万円 (19%)
3位	町税	8億1千万円 (13%)
4位	町債	5億9千万円 (9%)

解説

地方交付税は、国から入ってくるお金で、歳入の半分近くもあります。

繰入金は貯金(基金)を切り崩しているお金で、町債は、借金をしているお金です。町税は住民税やタバコ税などの身近で自分たちで稼いでいるお金です。

こうみると自分たちが稼いだお金は少ないのです。

※只見町は貯金と借金のバランスが良いと議会は評価しています。

出ていくお金 ベスト4

1位	負担金・補助金	10億円 (17%)
2位	委託料	10億円 (17%)
3位	償還金	7億2千万円 (11%)
4位	繰出金	6億6千万円 (10%)

解説

負担金・補助金は、会費や誰かを応援(補助)するお金です。委託金は役場の代わりに仕事としてお願いするお金です。償還金は借金の返済に充てるお金で、繰出金は一般会計から特別会計へお金を移すことです。

具体的には、診療所やこぶし苑、上下水道等の「特定の目的のための別のお財布」に引越することです。

なんにでも使える財布から、限られた事や人に向けてお金を移すことは、税の公平性から考えると、望ましいものではありません。

一般会計補正予算

厳しい豪雪！ 除雪委託料増額

最強最長寒波の到来など、近年まれにみる豪雪の冬になりました。除雪業務に従事されたみなさん、お疲れさまでした。



昼夜問わず、実施された除雪作業

課目	増額補正	総額
町道除雪委託料	1億8680万円	3億9680万円
雪まつり実行委員会補助金	210万円	2310万円
ただみ・モノとくらしのミュージアム 除雪委託料	220万円	495万円
「自然首都・只見」応援基金積立金	223万円	2223万円

繰越明許費 脱炭素へ！湯ら里に薪ボイラー併設

令和6年度内に完了しない見込みの事業を令和7年度に繰越します。

- 只見駅前複合施設整備事業 6270万円
- 薪ボイラー導入推進事業 1億7546万円

湯ら里に薪ボイラーを併設する事業。県補助金（福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援事業補助金）の交付決定が昨年秋であり、工期が年度をまたぐための繰越。令和7年秋頃完成予定。



人事案件 4件5名を同意（敬省略）

- 副町長 目黒 仁也
- 固定資産評価委員 目黒甚一郎
- 監査委員 吉津 文裕（再任）
- 固定資産評価委員 横田 雅則
- 人権擁護委員 渡部 早苗



第三次只見町立小学校
在り方検討懇談会報告書

町内 3 小学校統合に向けて 只見町小学校改革審議会設置条例を可決

町は平成29年度より「只見町立小学校在り方検討懇談会」を開催し、小学校の在り方について検討してきました。そして今回「第三次只見町立小学校在り方検討懇談会」において「小学校統合を進める方向で検討すべき」との意見が示されました。（令和7年1月）

町はこの報告書を受けて「只見町小学校改革審議会」を設置し、統合へ向けて動き出します。

これまでの経緯

第一次只見町立小学校在り方検討懇談会（平成29年度）

意見 人口減少が進み将来的に不安はあるものの、各小学校は地域の中で重要な役割を担っていることを確認。

第二次只見町立小学校在り方検討懇談会（令和2年度）

意見 現状維持を望む保護者が8割いること、小学校が地区から無くなるデメリットを考慮し現状維持とするも、今後の児童数の推移、保護者、町民の声を聴きながら、引き続き検討が必要。

第三次只見町立小学校在り方検討懇談会（令和6年度）

意見 今後更なる児童数の減少を迎えるなか、小学校教育の未来を見据え、児童にとってよりよい教育環境を整えるために、町内小学校の統合を検討する必要がある。

※報告書全文についてはページ上のQRコード参照

「只見小学校改革審議会」の内容

設置目的は町内小学校の教育環境及び学校における教育の充実のため、町立小学校の在り方等に関する事項について審議する。

審議会委員は15名以内、任期は1年とし有識者のほか町民からも公募する。

審議会へ諮問すること（議会への説明、一般質問答弁を含む）

- *統合へ向け、早ければ年内に結論を出したい。審議会5回予定。
- *朝日小、朝日保育所（認定こども園）施設が老朽化しているため、施設の検討
- *幼・保・小連携型の建物とするか、の検討
- *通学方法の検討
- *統合した後の空き校舎の利用方法など

今後議会及び町民に細やかな状況説明を求め、条例に賛同した。



町民の憩いの場 深沢温泉むら湯 源泉掘削を再検討！

深沢温泉むら湯において、現在は揚湯量が減少し温度も低下していることから町は新たな源泉掘削を再検討をしている。

●深沢温泉の歴史

平成5年 温泉掘削され、源泉かけ流しの町民が待ち望んだ深沢温泉むら湯ができた。泉質は極めて機械設備には過酷で、幾度となくポンプやケーシング修繕を繰り返してきた。

●現在までの源泉の状況

掘削当初毎分166ℓ出ていた流量が、毎分50ℓ前後となる。1500メートルあったケーシングパイプが500メートル辺りで崩落している。

令和4年に新たに温泉掘削をする考えが示されたが、掘削に必要な予算が約3億円との説明があり、議会へ予算提案まで至らなかった。度重なるポンプの故障により臨時休業が強いられ、令和6年12月時点では、揚湯量は湯量毎分58ℓ、温度は47度となる。



当時の深沢温泉掘削の様子



ケーシングパイプ
掘った後、崩れないように保護、低水温が流入しないように挿入する管

●掘削事業費の説明

令和7年3月4日

「温泉掘削計画実施計画書の実施内容」より概算予算（令和4年時点）

計画書策定	46万2千円
温泉掘削工事一式	3億52万円
合計	3億98万2千円

資材等物価高騰により、令和7年度に実施する際には、約1.3倍上昇し、概算見積額は約3億9127万7千円に加え、技術的指導額等が発生するとの説明があった。

●議会の意見

- ・将来負担が見える計画の策定を。
- ・観光審議会は迅速に行い結論を出すこと
- ・先延ばしにすればするほど、工事費が増えていくので迅速な対応が必要
- ・約4億円の費用で新たに掘削しても、揚湯量が回復する確証がない状況での事業執行は、丁半博打と同じでは。
- ・只見町にとって源泉に4億円の価値があるのか、出なかった時のリスク管理が必要。



町のこと、議会のことについて想いを聞きました。

継続は力なり

只見町で現在、青年団活動をしているのは、残念ながら明和青年団だけです。

明和地区の盆踊りや幼児へのクリスマスイベントの開催、町民運動会や公民館まつりへの協力をはじめ、町駅伝大会や雪まつりなどの参加など、活動内容は多いです。

最近の悩みは、団員の減少により活動が困難になっていることです。

今までは40歳になったり、結婚したら退団でしたが、今は地域全体、OBやOGの方々の応援や、只見町内有志の協力を頂きながら存続していると思います。感謝しかありません。全国的に少子高齢化が進んでいます。只見



町でも同様で、明和青年団の活動や存続も危うくなっています。止めるのは簡単なんです。しかし、地区で祭りやイベントがなくなったら、次世代を担う子どもたちの笑顔が消え、活気がなくなってしまう。それだけは避けたいと考えています。

今後明和青年団の活動に、ご支援とご協力をお願い致します。
(児島達志 39才)

3地区の役割分担を

仙台で27年生活したのち、只見町に帰って4年たちました。町の仕事にも携わらせていただき感謝しています。

只見町は相変わらず雪も多く大変ですが、同級生たちや町民の方々のおかげで、日常生活はほとんど不便無く生活できて安心しています。

ですが3地区が1つの町である割に、まだ地区間の隔たりを感じます。なのでせっかくの3地区からなる町なので、個人の感情や感想はぬきにわかりやすく役割分担した地域に分けて考えて町作りしていただけだとは思いますが。そしてそれらを利用する方々の現実的な目線でも考えたほうが将来的にも生活しやすい



いのではないかと思います。具体案としては、産業地区、教育や施設的な地区、観光や情報の地区として役割分担できれば、他県や他の町村から見るときに移住しやすい町としてみられるのではないのでしょうか。八十里越開通に伴い注目される町にこれからなる未来も想像できるので、期待の持てる町になっていくことを願うとともに協力できたらと思います。
(50代男性)

表紙の 写真に思う

只見小学校 卒業証書授与式

令和7年3月21日に只見小学校の6年生3名に卒業証書が授与されました。表紙写真は在校生に見送られる卒業生の1コマです。

左の写真はお父さんと一緒に撮影を依頼しました。肩に触れて恥ずかしがる子どもたちとは対照的に大きくなった我が子に成長を感じたのではないのでしょうか。



●医療体制・買い物物支援・

小学校の在り方

最重要課題として調査を進める!!

朝日診療所の常勤医師の確保と運営体制、移動販売車の休止による買い物支援対策、今後の小学校統合の在り方等について多くの町民からの意見、要望をいただいた。これら医療、教育、福祉分野は、町民生活と密接に関わることであり、総務常任委員会の所管事務調査の最重要課題として引き続き取り組んでいく。

朝日診療所の常勤医師の確保と運営体制、移動販売車の休止による買い物支援対策、今後の小学校統合の在り方等について多くの町民からの意見、要望をいただいた。これら医療、教育、福祉分野は、町民生活と密接に関わることであり、総務常任委員会の所管事務調査の最重要課題として引き続き取り組んでいく。

●幼児教育の基盤として

「ぶなのもりこども園」4月開園!!

只見町の幼児教育、子育て支援の拠点として朝日保育所が4月に開所となり、只見町の保育、幼児教育の新たなスタートです。只見、明和保育所の3歳未満児の保育も含めて安心、安全な運営が望まれ、今後も子供たちの健やかな成長のため、良好な運営体制となるよう、調査を継続していく。



●駅前複合施設の今後課題

- ・示された五つの拠点
- *観光情報発信・誘客促進
- 観光案内所
- *持続可能な地域振興
- お土産・物産販売所・飲食スペース
- *子育て・コミュニケーション交流
- 子育てでコミュニケーション
- ユニティスペース
- *町民生活の支援
- 食料品・日用品・薬販売
- *アウトドアフィロド拠点
- アクティビティ拠点・集客施設
- 運営母体、モンベルショップの必要性、施設建設後の雪まつりの在り方、役場庁舎、除雪体制等の課題があり今後も慎重な審議が必要。

●布沢区から陳情2件

・冬期孤立住宅解消事業に関する陳情

陳情箇所において現行制度（克雪対策事業補助金）では個人負担額が多く実現性が見込めない。そのため、町当局に道路改良工事とした場合の試算を依頼中である。審議の参考にしたいと考え継続審

査とした。

・農業用施設改修事業

町が令和5年に補助金を支出したが、工事が完了しなかったため陳情が提出された。補助金の支出方法が適切であったかなど、町の対応についても審査しており継続審査とした。



広報広聴常任委員会

●議会モニター制度の先進地視察

議会広報のクリニッ

クの結果、「紙面に町民の顔が少ない」との指摘を受けていた。町民の顔が見える広報誌を作成している議会では、議会モニター制度を採用していることを確認し、先進地視察をおこ

なった。

研修後、委員会で議会モニター制度の目的を協議したところ、まずは広報モニター制度の創設が委員会として適切との結論になった。制度の目的は「町民が関心を寄せる議会にな

るため」「町民に読んでもらう広報誌にするため」と決定した。

今後は、広報モニター制度設置要綱(案)をつくり、然るべき議論の場に移していく。

●議会だより編集研修

議会だよりの課題として、見出し、デザインの弱さ、校正の正確さ、マンネリ化、町民の顔が少ないがあり、改善には外部の専門家が必要であり、研修を行った。

今後は、編集方針を

明確にした要綱をまとめ、編集会議では「どう見せるか」まで議論することとした。

研修後、「紙面に町民

の顔が見えないのは、議会・委員会の活動が不足している」「何を載



南会津地方広域市町村圏組合

南会津地方環境衛生組合

●統合される

組合議会進捗状況

消防出張所・分遣所庁舎整備基本計画の改定(案)について、只見・伊南・下郷の各出張所の施設別整備工程(案)が示され、只見・伊南の消防出張所庁舎整備事業の進捗状況について説明された。

統合により定数が増え、佐藤孝義議長、山岸国夫議員、目黒道人議員の3名体制となった。

広域組合と環境衛生組合統合の進捗状況について、令和7年4月開庁までのスケジュールと組織体系、人事配置計画(案)の説明があり、組織体系は、環境衛生組合の環境衛生課(継続)をそのまま引き継ぎ総務課(新設)を設置する。



議会運営委員会

12月18日

- 12月会議追加議案等
- ・財産の取得等

1月22日～23日

- 柳津町議会・金山町議会視察研修
- ・議員なり手不足と対策
- ・議員定数
- ・議員報酬
- ・委員会活動

1月27日

- 1月会議の開催
- ・只見町定住等促進住宅条例の一部を改正する条例(小林住宅)
- ・請願・陳情等

2月27日

- 3月会議の開催
- ・請願・陳情
- ・只見町議会会議規則の改正等



各議員のところにQRコードを付けてみました。

一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

*注 2名が一緒に録画動画になっています。

ブナりん

一般質問者席

一般質問

- **小沼 信孝**14
町長が考える複合施設とは
- **矢沢 明伸**15
医療・生活支援から安心なまちづくりを
- **菅家 忠**16
只見駅前複合施設は誰のためか
- **角田 誠**17
駅前再開発の進捗状況は
- **平山真恵美**18
こどもまんなか社会の在り方とは
- **酒井 右一**19
今後の朝日診療所の医療体制は
- **中野 大徳**20
小学校統合の具体的計画は
- **鈴木 好行**21
小学校統合をどう考えるか
- **山岸 国夫**22
災害時の孤立集落対策は
- **目黒 道人**23
宴会食べ残しゼロ条例化を
- **齋藤 猛**24
今後の深沢温泉の整備計画は

町政を問う

町を想い11名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

町長が考える 複合施設とは

答 町民生活支援が重要な施設



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

問

複合施設に取り入れようと考え、
入点づくりをどのよう
に考え進めていくの
か。今後のスケジュー
ルは。

答

「観光情報発信・
誘客促進」「町民
生活の支援（＋αの機
能）」「子育て・コミュ
ニティ交流」「持続可能
な地域振興」「アウトド
アフィールド拠点」中
でも町民生活の支援機
能の部分がこの施設に
おける重要な機能であ
り、将来に向けた施設
の根源と考え、事業者

問

の精査を行い、内容が
決まり次第スケジュール
を示したい。
毎日の買い物に
支障をきたして
いる。食生活に関わる
重要な問題、町として
「町民生活の支援」をど
のように支援するか。

答

毎日の買い物は
食生活に関わる
重要な問題だと認識し
ている。新たな支援策
として、商店へ注文し
た品物を届ける宅配事
業を考え、関係者と実
施内容を検討している。

問

買い物は毎日の
ことだ。移動販
売車など、宅配事業を
施設完成まで待つてい
られない。すぐにでも
出来ないものか。

答

移動販売車につ
いては現在検討
中だが、商品宅配は今
年上半期にも始めたい。

問

移動販売車、商
品宅配事業も今
では民間事業者では困
難な状況である。町が
関わり進めていただき
たい。

答

商品宅配はそう
したい。

問

複合施設が完成
したら現在のイン
フォメーションセン
ターの建物を町長は取
り壊すとの考えだが、
多額のお金を掛け建設
したものだ。インフォ
メーション施設は残し、
複合施設は新たな建物
施設だけでなく全体で
考える考えは無いのか。

答

そうした考えも
あると思うので
考えたい。

問

最後に確認だ
が、注文した品
物を届ける宅配事業は
今年の上半期との答弁
だったが一日でも早い
方が良い。いつ頃から
動き出すのか。

答

夏頃からやって
いきたい。



早期実現して欲しい！

医療・生活支援から 安心なまちづくりを

答 生活基盤の整備は早急に
取り組む

問 医療は安心して
生活する生活基
盤として必須条件であ
り、町民が不安を持た
れている現状がある。
特に只見町は、田島、
若松へ1～2時間以上
かかる遠隔地として必
要な医療体制を整える
べきではないか。

答 安心して生活する
生活基盤の整備
は早急に取り組まなけ
ばならないと認識し
ている。医療体制は、
昨年11月から常勤医師
1名に着任いただき、
4月からも県からの応
援医師を派遣いただく
が、複数の常勤医師に

よる総合的な医療の提
供が必要であると考え
ている。常勤医師の確
保に努め、早急に只見
町の医療の在り方等方
針について具体的目標
を定めていきたい。

問 買い物等は移動
販売の休止もあ
り困っておられる方が
多い。地域的にも明和
地区はその影響が大き
い。医療、生活支援、
インフラ網など生活に
直結するもの、町とし
て具体的な現状把握、
行動を起こすことが必
要でないか。

答 町民生活に直結
する大切な事柄
ばかりであり、町民へ
の発信。具体的な行動
へ直結することを加速
し、町民が安心して生
活を営んでいけるよう
努力していく。

危険木の事前伐採で 停電等の未然防止を

答 事業者と相互連携し、未然防止に
努めていく

問 町内には倒木、
危険となる樹木
が多くある。以前倒木
で長時間の停電となっ
た集落もあり、通行車
両にも危険な箇所があ
る。道路や電線等は県
や事業者の管轄である
が、町民の安全、安心
のため県、事業者と連
携し対応できないか。

答 電線電話等につ
いては協定を結
び連携を図っている。
道路沿いの危険木伐採
事業として杉沢地内の
国道沿いにある危険木
伐採を予定している。

問 国でも倒木によ
る災害を防ぐた
め事前伐採の取組の推
進方策を示し、森林環
境譲与税の活用も例示

答 東北電力等とも
連携しているの
で、森林環境譲与税、
森林環境交付金を活用
し、危険木伐採等考え
をめぐらし対応してい
きたい。



危ない……！！ 倒木の危険箇所 町内には多い



あき しのぶ
ざわ 明 議員
矢沢

只見駅前複合施設は誰のためか

答 町民の顔が見えるように進める



かん け ただし
菅 家 忠 議員

問

今の基本構想・計画に反対の立場から質問をする。機能という方法から考えているので目的が置いていかれている。大切なのは箱ではなく「価値」である。誰にどのような価値を提供したいのか。

答

町民の暮らしに資することであり、買い物支援や子育て支援等である。

問

「こういうものがあったら良いよね」の段階の構想を「どうやって実現する

のか」を示したものが計画である。今の計画は「こういう物が欲しい」の記載しかないのがで夢物語にしか見えない。

答

実現できるような事業者と協議を重ねたい。更に実行計画のようなもので示したい。

問

町の諸課題を解決できる一体的な施設整備を目指すのであれば、今後の町内全体での公共施設の利活用計画も必要では。

答

誰のための計画か目的に沿った形で町民の皆様を考えを示していきたい。

問

私は14億円使えるのであれば、方向性がある程度見えてきた保育所・小学校の一体的な施設の準備が先だと考える。駅前複合施設は、「町民の福祉の増進」と「経済

合理性」の相反するものを両立しなければならない。難易度が非常に高い。

私は子どもたちの未来に投資したい。それが「今の子どもたちが、子育てできる町」にするために必要な政策だと考える。

答

質問の趣旨は、考え方の手順を踏み、町民が置いてけぼりにならない説明、具体的なビジョンが必要だと捉えている。従来、行政がやらなくても良いことも一緒になってやっていく時代になったと考える。その線引きは非常に難しいと感じており、その線を引く議論の過程も重要である。根拠のない中で勝負はできないが、可能性を高める努力をしていきたい。

目的 が重要！

誰に？



どのような
価値を？



方法 → 重要ではない
打ち手ありき ×

どうやって
提供する？



駅前再開発の 進捗状況は

答 整備を着実に進めていく

問 駅前複合施設の
立地場所はいつ
までイメージなのか。

答 機能が決まり次
第、計画を示し、
町民の理解と協力を得
たい。

問 機能が決まって
からとあるが、
5つの拠点が機能では
ないのか。決まってい

答 機能は決まり次
第、計画を示し、
町民の理解と協力を得
たい。

ないのは運営者と町の
覚悟では。

答 運営者は町内か
ら選定したい。

機能は早期に示したい。

問 道の駅機能だけ
ではなく、町の
諸課題を解決する一体
的な施設整備を目指す
のであれば、立地場所
やレイアウトは既に示
すべき時期ではないか。

答 機能は決まって
からとあるが、
5つの拠点が機能では
ないのか。決まってい

答 今年度中には運
営者を決定し、
共に検討したい。

問 旧庁舎解体から
6年が経過した
が、分庁化は暫定的と
は言えない状況だ。い
つまで暫定的なのか。

答 分庁化はあくま
で暫定的であり、
今後は分散している役
場庁舎機能の集約を検
討していく。いつまで
にと今は返答できない。

問 只見町役場の位
置を定める条例
がネックとなり、庁舎
建設に移れないのでは
ないか。

答 条例や自治法の
改正は、議会
で3分の2以上の賛成や
慎重審議が必要であ
る。現状が長く続くこ
とは良くないので努力
を重ねたい。

問 複数の施設を合
わせて複合施設
だと考えるが、役場庁
舎と連結や併設であれ
ば、町民の利便性やサ
ービスの向上、防災拠
点としても活用できる
のでは。

答 現状で検討した
経過はないが、
役場は単体での建設が
望ましいと考える。

問 令和7年4月よ
り只見駅が無人
化となり、券売委託先
は調整中だと聞いてい
る。決定したのか。

答 観光公社に委託
し、只見駅利用
者の利便性向上や観光
案内強化を図る。

問 只見駅は建屋自
体が現代のニー
ズに合っていないと感

答 只見駅はJR東
日本の管理。譲
渡可能な敷地では十分
な面積が確保できず断
念したが、今後も協議
を重ねたい。

じる。駅の建て替えや
リフォームで利便性を
高め、さらなる観光交
流人口の増加を図るべ
きだが。

答 只見駅はJR東
日本の管理。譲
渡可能な敷地では十分
な面積が確保できず断
念したが、今後も協議
を重ねたい。

問 只見町役場の位
置を定める条例
がネックとなり、庁舎
建設に移れないのでは
ないか。

答 条例や自治法の
改正は、議会
で3分の2以上の賛成や
慎重審議が必要であ
る。現状が長く続くこ
とは良くないので努力
を重ねたい。



つのだ 角田 まこと 議員



分庁化はいつまでか。

こどもまんなか社会の在り方とは

答 子どもの声を生かす町づくりを推進



ひらやま まえみ
平山真恵美 議員

問 計画推進のための体制整備と関係機関の連携はどのようにするか。

答 保護者の就労環境の多様化に対応した柔軟な保育サービスや包括的支援を重視し、子育て相談体制を充実。こども園での質の高い幼児教育・保育を推進する。

問 第3期子ども子育て支援計画策定において、強化・改善した点はどこか。

答 子どもを社会の一員と捉え、意見を尊重することが社会参画の第一歩。子どもが積極的に発言し、具体的な形にできる環境を整える。

答 庁内および専門機関の連携を強化し、相談窓口を一本化する「こども家庭センター」を設置し母子保健から切れ目のない子育て支援を実現する。

問 少子化を乗り越える地域の特性を活かした子育て支援強化策は。

答 認定こども園の役割は大きい。保護者に寄り添い、子育てを楽しめる環境を整え、地域全体で子育てを応援する意識を醸成する。

問 地域全体で子育て支援体制を築く行政と住民の役割分担は。

答 行政は子育て支援制度の整備・支援策を実施し、地域は「第三の居場所」として見守りや子育て支援を担う。今後も行政と地域が協働し、子育てしやすい環境づくりを進める。

問 地域の子育て支援力を高める人材育成は。

答 保育や子育て支援事業で活躍できる人材を増やすため、地域人材の確保と子育て支援員の育成に力を入れる。



子育て支援の充実を。

子育て応援が見える地域とは

答 官民協働で実効性ある支援体制を構築

今後の朝日診療所の 医療体制は

答 引き続き医師確保に努力していく

問

働き方改革以降、今は所長医師はおられるものの、救急患者の受け入れが出来ない、入院もできない状態が続いている。また、亡くなる患者の看取りもできない。更に看護師など医療スタッフの退職もあり、只見町の医療は危機に

瀕している。

医師確保の困難、看護師の退職など朝日診療所の存亡に直面し、町民には非常な危機感と絶望に近い感覚がある。この事態を回避し、医療体制を元に戻すために町長自ら最優先として何を為すべきか問う。

答

まず医師の確保だ。福島県立医科大学や他の医療機関の協力も求めていく。オンライン診療の導入などを行っていく。

問

現状を追認し、診療所の医療を縮小する考えなのか。

答

以前のような体制は理想だが、常勤医師を確保できないければ以前のように戻すことはできない。現状を追認しているわけではなく、引き続き医師確保に努力していく。

問

朝日診療所はどう在るべきか、首長として将来の運営方針を示されたい。

答

今年度開催した医療・介護・福祉在り方検討会の報告を踏まえ、第一次朝日診療所基本計画の見直しの中で検討していく。



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員



安心した医療体制の拡充を。

小学校統合の 具体的計画は

答 スピード感を持って検討していく



なか の たか のり
中野大徳 議員

問

本年1月28日付けにて「第三次只見町立小学校の在り方検討懇談会報告書」が只見町立小学校の在り方検討会より示された。報告書には、「小学校統合を進める方向で検討する必要がある、発展的な小学校統合に向けた具体的な計画を進められるよう要望する」とまとめられているが計画は。

答

意見を重く受けとめ町の将来を見据えた教育環境の充実を目指し慎重に検討

を進めていく考えである。今後のスケジュールと進め方について小学校の統合は子供たちや保護者をはじめ町民の皆様にとって重要な問題であり、そのため広く町民の意見を伺いながら最善の方策を見つけて行く。今議会において「小学校改革審議会設置条例」を提案した。この審議会で統合の必要性や効果、課題について具体的に検討して行きたいと考える。統合にあたっては学習環境の向上、通学の安全確保、さらには校舎の再利用など多くの課題を慎重に検討する必要がある。審議会では統合の進め方や校舎の整備計画、教育内容の充実などについても検討していく。スピード感を持って検討していくので理解と協力をお願いする。

問

小学校統合の問題は公共施設の再配置と絡んでくる。役場の暫定移転の質問も昨日あった。今だ、スケジュール等も示せないままでありスピード感を持って進めていただきたい。

答

スピード感をもって取り組む。具体化の検討が進めば公共施設の再配置に当然絡んでくる。その校舎をどのように使っていくのかも並行してやっていかなければならない。小学校の統合のあり方がさまざまな公共施設の再配置に及んでくると言うことは私自身も認識しており、しっかり受け止めさせていただき努力して行く。



小学校の統合は。

小学校統合をどう考えるか

答 「只見小学校改革審議会」を設置し、検討

問 7年度より認定こども園をスタートさせる。それにより、認定こども園と中学校は3地区の子供が一緒に、小学校だけ別々の地区に通うことになる。また「第三次只見町立小学校の在り方検討会」において、「小学校統合を進める方向で」との意見が提言された。町としてどのように捉えているか。

答 検討会の意見を重く受け止め、「只見小学校改革審議会」を設置し、最善な小学校の在り方を検討する。

問 「只見小学校改革審議会」は統合を前提とした審議会か。

答 統合を前提として、諮問する。

問 児童数の減少、朝日小学校と朝日保育所の施設の老朽化などを考慮し、急ぎ進めるべきではないか。

答 幼少保連携型の建物とするか、空き家となる建物の活用方法、通学方法等、様々な分野で検討する必要がある。それらの課題も含めて諮問したい。

問 朝日地区、明和地区の子供は全員が認定こども園に通園すると聞いた。只見地区の子供に対する考え方は。

答 今年度は定員の関係で対応は難しいが、令和8年度から保護者の希望に沿いたい。

駅前複合施設 関心が低い理由は

答 施設詳細の説明ができていない

問 八十里越え開通に向け、駅前複合施設を計画しているが、町民、町内業者の関心が薄い現状をどう捉えているか。

答 町内事業者においては事業継承などを優先する問題を抱えている現状と、町民に対しての詳細説明が出来ていないことが要因と考える。またまとめた段階で示したい。

問 只見らしい山の幸やキノコ類、木工品等の提供ができる体制にない。どう捉えるか。

答 現在は採取する人が少なくなっていることや、生産できる人が限られているなどの理由で厳しい状態だ。複合施設での販売で、新たに取組む人の出現を期待する。



すずき よし ゆき
鈴木好行 議員



子供のための施設整備を

災害時の 孤立集落対策は

答 生命・安全の確保を図り生活再建を



やま ぎし くに お
山 岸 国 夫 議員

問

福島県は、災害時に孤立する恐れのある集落数の調査結果を公表した。この調査で、只見町内の集落は16カ所としている。町内の集落名と只見町の対応を問う。

答

令和6年能登半島地震で多数の孤立集落が発生したことを踏まえ、福島県における自然災害による孤立集落対策の検討のため実施された。町は、平成23年7月新潟・福島豪雨災害を踏まえ、孤立の定義等により孤立の恐れのある16カ所

集落を抽出した。塩沢、十島、寄岩、蒲生、八木沢、叶津、入叶津、黒沢、小川、荒島、熊倉、亀岡、黒谷入、布沢、坂田、塩ノ岐である。

災害時の対応は、生命・安全の確保を図り、生活の安定、回復、再建となるよう取り組む。平成23年の豪雨災害の経験を踏まえ、河川改修や治山事業の要望を継続する。

問

町の災害時の非常用物資備蓄で、令和7年度に賞味期限が切れるものがある。これまでの対応で廃棄処分もあったが、有効活用をはかることを求める。

答

備蓄品台帳を整備し、配備先、数量、賞味期限を管理している。賞味期限が切れるものについては防災訓練等での利用など有効活用する。

鳥獣被害対策を

答 電気柵設置と緩衝帯整備の支援をはかる

問

鳥獣被害対策についての対応で、近年増加しているイノシシによる被害が拡大している。未然に防止するための対応策を求める。

答

被害防止対策は、侵入防止のための電気柵の設置と、緩衝帯整備が有効であると言われている。集落ぐるみで実施される電気柵の設置費用に對して、上限70万円を全額補助するなど支援している。緩衝帯整備は、集落において、県の里山林整備事業補助金を活用し、被害防止に努める。



畑を荒らす猪。

宴会食べ残しゼロ 条例化を

答 今後研究したい

問

フードロスは世界的な課題であるが、我が町でも宴会におけるフードロスは目に余るものがある。今回はあえて条例化を求めるが、町長は宴会でのフードロスをとどのように捉えているか。

答

宴会で多くの料理が食べられずに残ってしまうのは大変もったいないことであり、廃棄物削減の面からも重要な課題だ。条例で定めることは一つの取り組みだと考えられる。

問

ESD教育先進地の大人の振る



とみちぐろめ
議員 黒道人

舞いとして、宴会での食べ残しを教育長はどう考えるか。

答

もったいない思いは感じている。

ESD教育を通じて給食などでは食べ残しがないよう指導し、また牛乳パックなどは洗浄し資源として循環することを指導している。宴会に於いては主催者側が食べ残しがないよう促すことが必要と考える。

問

テイクアウトには食中毒の懸念もあり消極的だが、町の交流施設での対応を伺う。

答

湯ら里ではコロナウィルスの流行をきっかけとして感染症予防の観点から持ち帰りはご遠慮いただいている。一方でフードロス削減のため、食べ残しゼロを継続して推奨している。

火の用心、 習俗のPRと保存を

答 地域の魅力としてPRを検討する

問

少子化に伴い、火の用心を書く子どもが減っている。地域を挙げてPRすべき貴重な習俗であると考えているが、これまでのPR実績を伺う。

答

消防出初式で披露目ののち、各地区の公民館で展示をしている。また雪まつりにおいても会場内で展示している。さら

問

にカプセルトイ「街ガチャin只見町」のキーホルダー図案にも採用している。

子どもの成長を地域で祝福する温かい風習だ。移住定

答

住フェアなどでのPR実績を伺う。

移住定住となると生活に関する説明が主であり、習俗については触れていないため今後検討したい。



子どもの成長を祝福する温かい習俗。

今後の深沢温泉の整備計画は

答 審議会での意見を聞き整備計画を定めたい



さいとう 齋藤 たけし 議員

問

深沢温泉は、湧出状況が悪化しており施設運営において問題となっている。温泉掘削計画の進捗は。

答

源泉整備に関する勉強会を実施したが予算化には至っていない。

担当委員会にて、源泉の回復状況と合わせて4億円の事業費提案を協議した。

浚渫の実施、井戸の状況を調査した結果、新たな温泉掘削をするしかない。新規掘削には、様々なリスクがあ

ると考える。
まずは、揚湯量の確保、温泉温度の回復を図りたい。

問

観光開発審議会のメンバーは。

答

中央温泉研究所から有識者を派遣し、深沢集落の代表、関連する町民の代表、

商工会、銀行等を考えている。

問

観光開発審議会のスケジュール

は。

答

上半期に答申をまとめていただき、年内か年度内に整備計画をまとめていきたい。

孤立集落の支援・救助は

答 協力、連携して災害対応にあたる

問

事業継続計画で孤立集落の住民救助は。

答

事業継続計画とは緊急時に優先順位をつけているものである。

住民の生命が大切でそれに対する支援を対策本部が中心として活

動する。

問

自主防災組織の編成率の低い理由は。

答

都会に比べ只見町は、日常的に住民間の相互扶助の力が働いており、文字に表さなくとも機能していると考えている。

問

中央公民館はどのような方法で地域防災に関わるか。

答

町民生活課と協力し、集落の考え方を尊重しながら、よりよい防災体制づくりに協力していく。

問

孤立集落が発生した際の人工透析者等の支援は。

答

孤立する前に避難してもらうことが大前提である。

その上で集落、消防団、民生委員と共有している要支援者名簿を基に、優先順位をつけて救護、救助していく。



災害に強い地域づくりを。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.43



アカショウちゃん

「災害救助法」 ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん 只見町に「災害救助法」が適用になったって聞いたけど、どんなことなの?

議会議長 よくテレビや新聞をみているね。今回は議会のことではないけれど一緒に考えてみよう。

「災害救助法」というのは災害が発生したときに、国（内閣府）が地方公共団体などの協力のもと、応急救助を行なう法律のことだよ。

自然災害などで人の命や、建物などに大きな被害が発生したり、発生するおそれがあるときに適用になるんだよ。



アカショウちゃん 豪雪でも適用になるの?

議会議長 今回は、大雪で、放置すれば住家が倒壊したり、生命または身体に危害を受けるおそれがあるということで適用になったんだ。

ブナりん 具体的にどんなことをしてもらえるの。

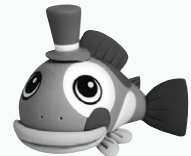
議会議長 屋根に雪が積もって、倒壊するおそれがあるときや、玄関周りの雪で家に入りすることができないときなどに、屋根や家の周りの除雪をしてもらえるよ。

ブナりん 誰でもやってもらえるの?

議会議長 お年寄りや、障害があっても自力で除雪ができない人で、業者などに依頼するお金をサポートしてもらっている人が対象となるんだ。

今日（3月4日）までに234件実施したよ。

イワっぺ 助けられた人がたくさんいたね。早く雪が消えるといいな。



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



若者たちの目線 vol.43只見町って
なじぶだや？

明和の伝統芸能

明和小学校
6年 佐藤 佑さとう ゆう

明和小学校では1、4年生が伝統芸能に取り組んでいます。1・2年生は大倉八木節、3年生は小林早乙女踊

只見線への思い

朝日小学校
6年 酒井 莉里さかい りり

私は只見線が好きです。理由は、車内から見える景色が綺麗だからです。季節ごとに違

り、4年生は梁取神楽を練習し、毎年発表しています。卒業を迎える僕も、3つの伝統芸能に取り組んできました。自分の地区以外の伝統芸能に触れることは、とてもよい経験になりました。

僕は太倉に住んでいて、今でも太倉八木節を踊っています。地区の先輩の踊りはとても

う景色が見られるので楽しいです。

私は「只見線子ども会議」のメンバーに入っています。活動の中に、只見線に手を振るというものがあります。誰でも参加可能なので、皆さんも只見線を見かけたら手を振ってくれるとうれしいです。私が大人になったら、

ひとこと

素晴らしい！
大きくなった時、憧れの先輩となれるように頑張ってください。継続は力なり！

ひとこと

只見線子ども会議の活動、頑張っていますよね。只見駅の模様替え等、いつも拝見しています。

多くの人に乗ってもらうために、只見線の情報を発信するような仕事もしてみたいです。

編集後記

豪雪だった今年の冬も終わりを告げようとしてきました。

昨年の4月から新しい議会体制となつて一年を迎え、議員のなり手不足や議員定数の問題に取り組み協議をしている中で、全国的に議会への関心が薄いことを痛感させられております。

議会だよりでも新たな取り組みとして町民の声が見える企画をスタートしました。多くの町民の方に参加をし

ていただくことで、議会や町政に関心を持っていただけの議会だよりを目指し活動していきたいと思っています。町民の方への取材のときは、何卒ご協力をよろしくお願いします。

議会や広報誌についてのご意見をお聞かせ願う「議会モニター」「広報モニター」にも取り組んでいきたいと考えております。その際も是非ともご参加をよろしく願いましたます。(小沼信孝委員)

発行責任者 議長 佐藤 孝義
広報広聴常任委員会
委員長 菅家 忠
副委員長 目黒 道人
委員 鈴木 好行
小沼 信孝
矢沢 明伸
角田 誠

